

こんな飲み方は正しい治療につながりません

- 症状が出なくなったのでやめた
- 食事をしないときは飲まない
- 副作用が出たのでやめた
- 自分で薬の量を調整して飲んでいる

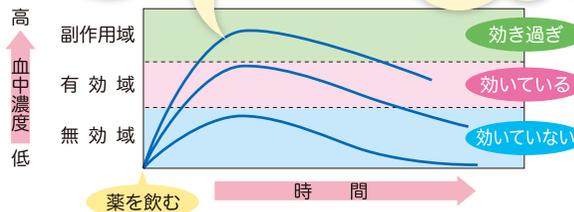
薬の飲む量・期間を守りましょう

薬は飲む量を倍にしたら倍効くということはありません

副作用が出やすくなります

薬は飲む量を半分にしたら半分効くということはありません

効果が出ないことがあります



用法を確認しましょう

- 用法・用量をきちんと守る
- 使用上の注意書きもきちんと読む
- 薬を飲むとき、水かぬるま湯で



一包化を希望する場合、「かかりつけ薬局」の薬剤師に伝えやすくするため、「一包化カード」を作成しました。薬局の窓口でご活用ください

留意事項

- 薬剤師に一包化を希望する旨お伝え下さい
- すべてのお薬が一包化できるとは限りません
- 患者さんによっては料金が別途かかります

ご自宅にお薬は残っていませんか？



薬剤師はあなたの残ったお薬を確認し、医師に連絡をして、残ったお薬を有効活用します。処方されるお薬が減ると、ご負担いただくお薬代も少なくなります。

当薬局では、残った薬の過不足などを正しく整えることにご協力いただける患者さんに、『いーじーバッグ』を配布しています。このバッグに、ご家庭にある残ったすべてのお薬を入れて、次回の来局の際にお持ちください。



【お問い合わせ】

しっかり服薬 できていますか？



医師は「患者さんは決められた通りにきちんと薬を飲んでいる」という前提で治療の計画を立てます。薬を飲まないでいると、薬が効いていないと判断される場合があります

お薬についての困り事は
薬剤師にお気軽にご相談ください

薬でこんな困り事 ありませんか？



- 薬が多くてわからない
- いつ飲む薬かわからない
- 飲んだか、飲まなかったか覚えていない
- 薬をうまく取り出せない
- 薬を飲むときむせる

ご相談ください
飲みやすい薬への変更や、
間違えない処置をします

剤形

顆粒、ドライシロップ、
口の中で溶け、水なし
で飲める錠剤など

大きさ

飲み込みやすく

味やにおい

苦みなどを
味・香りで軽減

色

ほかの薬と
区別しやすく

一包化



しっかり服薬するために

こんな工夫もあります

お薬カレンダーに入れて保管

一週間分のお薬を、曜日・用法ごとに整理し管理します。お薬が一目で確認できるため、飲み違い、二重飲み、または飲み忘れを防ぎます。お薬の混同を防ぐことができます。



ケースやかごに入れて保管

朝・昼・夕など服用時間で分け、その中にお薬を入れます。



家族がサポート

身近にお年寄りがいる方は、薬を飲み忘れたり、飲み間違えたりしないよう、家族が気を配る。



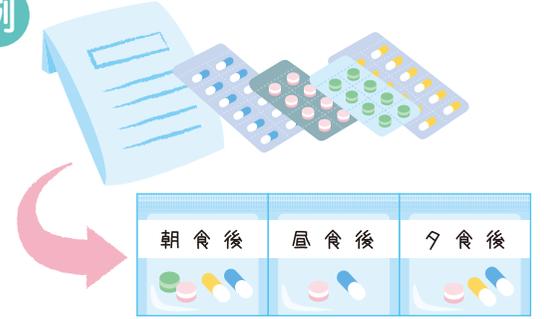
他にも...

県民の皆様から寄せられた アイデアを紹介します

- 薬に日付けを記入する
- 薬を飲んだら、カレンダーなどにシールを貼る
- 小分けしたビニール袋をカレンダーに張り付け残量を確認する
- 薬の袋を目覚まし時計に張り付けて、アラームをセットする
- ヨーグルトの四角形のパッケージに、飲み終えた「カラ袋」を入れて、翌朝、全部「カラ袋」が入っているか確かめてからする
- 薬を飲んだら手帳やカレンダーに記載するなど、飲んだことを記録する
- 朝、昼、夕の薬を一包化できるか薬剤師に相談する

一包化とは

例



一包化とは、服用時期が同じ薬や1回に何種類かの錠剤を服用する場合などに、それらをまとめて1袋にすることです。

飲み間違いや錠剤の紛失がなくなります。また、手が不自由でお薬を取り出すことが難しいという方に便利です。

上の例では、朝食後に飲む薬は4種類、昼食後は2種類、夕食後は3種類の薬がそれぞれ一包化してあります。

一包化の料金は

一包化は、処方した医師の指示が必要となり、薬局から処方医師に了解をとってから行います。自己負担は患者さんの保険によって異なります。

一包化希望カード

(切り取ってお使いください)

このカードを「かかりつけ薬局」の薬剤師に見せてください

薬剤師の皆様へ

一包化を希望します

